

様式1

平成30年度観光振興部予算見積総括表

一般会計

平成30年度予算見積額	3,643,377 千円
平成29年度当初予算額	3,514,040 千円
差引増減額	129,337 千円
対前年度比率	103.7 %

(注1)上記には、人件費を含まない。

平成30年度 観光振興部 施策体系表

435万人観光の早期定着に向けて

(単位：千円)

細目事業名	H29当初 予算額	H30当初 予算額	増減 (H30 - H29)	主な新規・拡充・廃止・組替事業等	担当課名
1. 戦略的な観光地づくり	1,677,895	1,739,877	61,982		
地域観光推進事業費	1,489,882	1,111,307	-378,575	・観光拠点等整備事業費補助金 896,218千円 (+386,292)【拡充】 全国からの誘客につながる自然を生かしたアウトドア拠点の整備等を拡充 ・地域観光商品造成等委託料 46,993千円 (+493)【拡充】 ・広域観光推進事業費補助金 143,000千円 (+47,000)【拡充】 地域博覧会開催準備の実施 ・歴史観光資源等強化事業費補助金 0千円 (▲814,670)【廃止】	地域観光課
足摺海洋館管理運営費	188,013	628,570	440,557	・足摺海洋館実施設計委託料 0千円 (▲106,256)【廃止】 ・足摺海洋館取水口改修調査技術支援委託料 0千円 (▲6,048)【廃止】 ・新足摺海洋館建築工事監理委託料 25,243千円 (皆増)【新規】 ・新足摺海洋館愛称等募集業務委託料 3,240千円 (皆増)【新規】 ・新足摺海洋館建築工事請負費 430,814千円 (皆増)【新規】	地域観光課
2. 効果的なセールス&プロモーション	1,072,054	1,009,571	-62,483		
観光振興推進事業費 (うち観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業]及び[観光客受入事業]を除く)	1,072,054	1,009,571	-62,483	・志国高知幕末維新博推進事業費補助金 564,946千円 (▲66,058) 「志国高知 幕末維新博」の第2幕における、誘客、広報、受入の事業を行う、志国高知幕末維新博推進協議会に、事業費及び運営に係る経費を補助する ・観光振興推進事業費補助金 [観光客誘致事業(国内)] 159,655千円 (+1,291)【拡充】 個人旅行対策事業を強化 [プロモーション事業] 83,426千円 (▲2,914)	観光政策課
3. OMOTENASHI (おもてなし) の推進	511,142	526,263	15,121		
おもてなし推進調整費	16,739	16,945	206		おもてなし課
おもてなし活動推進事業費	4,403	5,295	892	・おもてなし一斉清掃実施委託料 1,388千円 (皆増)【新規】 おもてなし一斉清掃を委託により実施する	おもてなし課
おもてなし基盤整備事業費	75,599	79,250	3,651	・バリアフリー観光推進事業 7,964千円 (皆増)【新規】 観光関連事業者のバリアフリー観光に関する理解の推進とバリアフリーの情報の収集を実施 ・津波避難案内板設置工事請負費 0千円 (▲8,254)【廃止】 ・客船受入等業務委託料 49,863千円 (▲1,218) ・外国人観光客受入コミュニケーション向上事業委託料 7,812千円 (皆増)【新規】 外国人観光客とのコミュニケーション力の向上のため観光地エリア別のセミナーや個別事業者の研修を実施	おもてなし課
観光振興推進事業費 うち観光振興推進事業費補助金[観光客受入事業]	414,401	424,773	10,372	・観光振興推進事業費補助金 [観光客受入事業] 424,773千円 (+10,372)【拡充】 外国クルーズ客船の受入態勢の強化、こうち旅広場の充実等	観光政策課 (おもてなし課)
4. 国際観光の推進	252,949	367,666	114,717		
国際観光推進事業費	42,791	72,222	29,431	・海外情報発信及び商品販売促進事業 49,410千円 (皆増)【新規】 FIT対策として現地の旅行・メディア業界に精通した事業者と連携したセールスやプロモーションの実施 ・旅行商品販売促進事業委託料 0千円 (▲15,000)【廃止】 ・プロモーション実施委託料 0千円 (▲5,400)【廃止】 ・観光情報発信支援業務委託料 0千円 (▲5,000)【廃止】	国際観光課
よさこいプロモーション推進事業費	60,550	90,246	29,696	・2020東京オリパラに向けたよさこいプロモーション事業 13,807千円 (+11,934)【拡充】 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業の拡充	国際観光課
観光振興推進事業費 (うち観光振興推進事業費補助金[国際観光振興誘致事業])	89,144	138,617	49,473	・観光振興推進事業費補助金 [国際観光振興誘致事業] 138,617千円 (+49,473)【拡充】 外国人の個人旅行者対策の強化、高松空港からの誘致の強化等	観光政策課 (国際観光課)
観光振興企画調整費	60,464	66,581	6,117	・四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円	観光政策課
5. 事業体の強化と観光人材の育成[再掲]	1,494,285	1,116,602	-377,683		
地域観光推進事業費	1,489,882	1,111,307	-378,575	・地域観光商品造成等委託料 46,993千円 (+493)【拡充】 ・広域観光推進事業費補助金 143,000千円 (+47,000)【拡充】	地域観光課
おもてなし活動推進事業費	4,403	5,295	892	・観光ガイド育成事業費 3,110千円 (+393) 観光客の満足度向上のためのガイド技術の向上等を図る	おもてなし課
部 合 計	3,514,040	3,643,377	129,337		

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

【方向性】ポスト維新博も見据えた観光地づくりの推進

取組方針

- ①本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点や水族館等の整備
- ②官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
- ③個人旅行者(FIT)向け観光商品づくりの支援

平成30年度の主な事業

●観光拠点等整備事業費補助金	896,218千円	拡
●地域観光商品造成等委託料	46,993千円	拡
●広域観光推進事業費補助金	143,000千円	拡
●足摺海洋館施設整備費	559,774千円	拡

戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

【方向性】「志国高知 幕末維新博」を通じたプロモーションとセールス活動の推進

取組方針

- ④効果的な広報・セールス活動の展開
- ⑤旅行会社とタイアップした誘客促進

平成30年度の主な事業

●志国高知幕末維新博推進事業費補助金	564,946千円	
●首都圏等観光情報発信事業	7,549千円	
●観光振興推進事業費補助金 [観光客誘致事業（国内）] [プロモーション事業]	159,655千円 83,426千円	拡

戦略の柱3 OMOTENASHI（おもてなし）の推進

【方向性】外国人観光客にも対応した受入基盤のさらなる推進

取組方針

- ⑥国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

平成30年度の主な事業

●観光ガイド育成事業費	3,110千円	拡
●外国人観光客受入コミュニケーションカ 向上事業委託料	7,812千円	新
●バリアフリー観光推進事業	7,964千円	新
●客船受入等業務委託料	49,863千円	
●観光振興推進事業費補助金 [観光客受入事業]	424,773千円	拡

戦略の柱4 国際観光の推進

【方向性】外国人の個人旅行者のニーズにも対応した旅行商品の販売促進と高知県の認知を飛躍的に向上させるプロモーションの展開

取組方針

- ⑦外国人の個人旅行者(FIT)対策の強化
- ⑧2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「よさこい」の戦略的な活用

平成30年度の主な事業

●国際観光推進事業費	72,222千円	拡
●よさこいプロモーション事業費	90,246千円	拡
●観光振興推進事業費補助金 [国際観光振興誘致事業]	138,617千円	拡
●四国ツーリズム創造機構負担金	35,000千円	

全体を下支え

戦略の柱5 事業者の強化と観光人材の育成

【方向性】観光産業を支える事業者の強化や観光人材の育成と商品造成力の向上

取組方針

- ⑨広域観光組織等の事業者の強化
- ⑩事業者の個人旅行者(FIT)向け商品造成力の向上

平成30年度の主な事業（再掲）

●地域観光商品造成等委託料	46,993千円
●広域観光推進事業費補助金	143,000千円
●観光ガイド育成事業費	3,110千円

戦略の柱1 戦略的な観光地づくり

- ①本県の豊かな自然を活かしたアウトドア拠点や水族館等の整備 ②官民の一層の連携による広域観光組織の体制及び機能の強化
③個人旅行者（FIT）向け観光商品づくりの支援

拡 (1) 観光拠点等整備事業費補助金 896,218千円
【債務負担 85,089千円】

〔H29予算：509,926千円〕

地域が主体となった全国からの誘客につながる観光拠点の整備や観光資源の発掘、磨き上げ等の取組を総合的に支援する。

[主な取組]

- ・アウトドア拠点施設の整備（本山町）
- ・爪白キャンプ場の整備（土佐清水市）



拡 (2) 地域観光商品造成等委託料 46,993千円

〔H29予算：46,500千円〕

幕末維新博後の取組として、個人旅行者（FIT）をターゲットに一定の品質を確保した商品とするための磨き上げを行い、継続した販売に繋げるとともに、周遊による消費拡大を目指した事業者相互の連携を促進する。

[関連する取組]

観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー報償費 6,700千円

拡 (3) 広域観光推進事業費補助金 143,000千円

〔H29予算：96,000千円〕

地域が主体となった全国からの誘客につながる広域的な観光地づくりを推進するため、地域博覧会の開催や広域観光組織が行う周遊促進や旅行商品づくり、セールス活動などを総合的に支援する。

拡 (4) 足摺海洋館施設整備費 559,774千円
【債務負担 3,923,976千円】

〔H29予算：120,730千円〕

昭和50年に開館した足摺海洋館は老朽化が進み、耐震性能を満たさないため建て替えることとし、新海洋館は水族館本来の機能の充実に加え、竜串地域の強みを活かした魅力あふれる展示と周辺の観光施設やアクティビティ等へ誘う地域のコンシェルジュ機能を備えることで集客と地域への周遊を促進し、より多くの経済波及効果をもたらす県西南地域における誘客の核となる観光拠点施設として整備する。



戦略の柱2 効果的なセールス&プロモーション

- ④効果的な広報・セールス活動の展開 ⑤旅行会社とタイアップした誘客促進

(1) 志国高知幕末維新博推進事業費補助金 564,946千円

〔H29予算：631,004千円〕

平成29年3月に開幕した「志国高知 幕末維新博」の広報、誘客、受入にかかる事業及び運営に係る経費について、志国高知幕末維新博推進協議会に対して補助する。

[主な取り組み]

- ・第二幕開幕イベント等の開催
- ・マスメディア等を活用した全国的な露出を図る広報の展開
- ・会場での特別企画展示の開催、誘客イベントの開催 等



(2) 首都圏等観光情報発信事業 7,549千円

〔H29予算：7,687千円〕

テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアで取り上げてもらったパブリシティ活動を進め、全国における本県観光の魅力発信と誘客促進に取組む。

(3) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

拡 **【観光客誘致事業(国内)】 159,655千円**〔H29予算：158,364千円〕

県外旅行エージェント等に対するセールス活動を通じて誘客促進を図る。
平成30年度は平成29年度に引き続き「志国高知 幕末維新博」に合わせ、セールスキャラバンを実施するとともに、旅行商品造成の促進に取り組み、誘致拡大を図る。
また、旅行会社とタイアップした個人旅行者(FIT)などを対象とした誘客促進策を展開する。

【プロモーション事業】 83,426千円

〔H29予算：86,340千円〕

メディア等を活用した観光情報の発信や、「志国高知幕末維新博」に合わせて「歴史」を核に「食」と「自然」を前面に押し出したプロモーションを展開する。



〒780-0801 高知市東山町1-1-1

戦略の柱3 OMOTENASHI (おもてなし) の推進

⑥ 国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

拡 (1) 観光ガイド育成事業費 3,110千円

〔H29予算：2,717千円〕

観光資源の魅力を高め高知県を訪れる観光客の満足度向上を図るため、県内各地域で活動する観光ガイド団体の連携強化とガイド技術の向上を図る。

新 (2) 外国人観光客受入コミュニケーション力向上事業委託料 7,812千円

外国人観光客とのコミュニケーション力の向上を図るため、観光地エリア別のセミナーや個別事業者向けの研修を実施する。

新 (3) バリアフリー観光推進事業 7,964千円

観光関連事業者のバリアフリー観光に関する理解促進のためのセミナーの開催や、観光施設等のバリアフリー情報の収集を行う。

(4) 客船受入等業務委託料 49,863千円 (H29.12月補正 債務負担)

〔H29予算：51,081千円〕

高知市中心市街地でクルーズ客船乗客の受入態勢の充実を図り、満足度を高めることで、クルーズ客船のさらなる誘致と高知への観光客のリピーター確保につなげる。



拡 (5) 観光振興推進事業費補助金

(公財) 高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

【観光客受入事業】 424,773千円〔H29予算：414,401千円〕

「志国高知 幕末維新博」の開催に合わせ、お城まつりの開催や龍馬パスポート事業、こうち旅広場の運営、My遊バスの運行、おもてなしタクシーの取組等受入態勢のさらなる充実により、観光客の利便性の向上や周遊促進を図る。また、増加が見込まれている外国クルーズ客船の寄港に対応し、オプションツアーを造成する国内旅行会社等との商談会の実施などで、観光施設等への誘導を図る。

戦略の柱4 国際観光の推進

⑦ 外国人の個人旅行者(FIT)対策の強化

⑧ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた「よさこい」の戦略的な活用

拡 (1) 国際観光推進事業費 72,222千円

〔H29予算：42,791千円〕

本県への外国人観光客の誘致を図るため、現地の旅行業界に精通した事業者と連携し、旅行会社セールスやメディアへの情報発信を行う。また、本県の認知度向上のため、多様な媒体を通じて海外への話題性の高い情報発信を行うなど、総合的な取組を行う。



新**・海外情報発信及び旅行商品販売促進事業委託料**

49,410千円

重点市場である台湾・香港・シンガポール・タイの各市場において、現地の旅行業界の様々な情報や事業に精通した事業者と連携し、現地での情報交換会等を開催するなどメディアとのネットワーク強化を図りながら、個人旅行者の視点を重視した、訪日旅行雑誌やテレビ番組放送、ブロッガーによる、時宜にかなった情報発信などのプロモーション展開を市場別に行う。

併せて、旅行会社へ定期的・継続的にセールス活動を行うことで高知県への商品造成・販売に繋げる。

①メディア媒体を活用した情報発信

【台湾・香港・シンガポール・タイ】

②現地メディアとの情報交換会等の実施 【台湾・香港】

③旅行商品の造成に向けたセールス及び販売の強化

【台湾・香港・シンガポール・タイ】

④海外旅行博への出展、研修旅行セミナー等開催

【台湾・香港・シンガポール・タイ】

拡**(2) よさこいプロモーション事業費 90,246千円**

〔H29予算：60,550千円〕

全国のよさこい主催団体と連携し、東京オリンピック・パラリンピック開閉会式での演舞を目指すとともに、世界的なネットワークづくりを進め、よさこい発祥の地である本県の認知度の向上を図る。

**新****・2020東京オリパラに向けたよさこいプロモーション事業 13,807千円**

全国のよさこい主催団体と連携した「2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会」の総会等の開催や要望活動を行うとともに、国等が主催するイベントやテレビ企画へよさこい活用の企画提案活動等を行うことを通じて、東京オリパラ開閉会式でのよさこい演舞の実現を目指す。

・よさこいの世界的なネットワークづくり事業 22,972千円

よさこいの世界的なネットワークづくりを推進していくため、新たに北米や南米などを中心によさこいアンバサダーの認定を行うとともに、よさこいが普及していない国や地域等によさこい海外普及支援員（よさこいマイスター）の派遣を行う。

拡**(3) 観光振興推進事業費補助金**

〔公財〕高知県観光コンベンション協会が実施する次の事業等に対して補助する。

〔観光客誘致事業（国際）〕 138,617千円

〔H29予算：89,144千円〕

国内外の商談会等でのセールス活動を引き続き行うとともに、外国人向け観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」で、自然や食の体験コンテンツの充実を図りながら、個人旅行者にも対応した情報発信の強化を行うなど、外国人観光客の誘客促進を図る。併せて、個人旅行者に対応できるよう体験プログラムをさらに磨き上げるとともに、航空チャーター便の誘致などアクセス環境の改善に向けた取組を推進する。

(4) 四国ツーリズム創造機構負担金 35,000千円

〔H29予算：35,000千円〕

四国4県とJ R四国などで組織する四国ツーリズム創造機構において、四国広域観光周遊ルートづくりやビジットジャパン地域連携事業を展開する。

戦略の柱5 事業体の強化と観光人材の育成

⑨ 広域観光組織等の事業体の強化

⑩ 個人旅行者(FIT)向け観光商品造成力の向上

(1) 地域観光商品造成等委託料 46,993千円【再掲】

〔H29予算：46,500千円〕

幕末維新博後の取組として、個人旅行者（FIT）をターゲットに一定の品質を確保した商品とするための磨き上げを行い、継続した販売に繋げるとともに、周遊による拡大を目指した事業相互の連携を促進する。

〔関連する取組〕

観光創生塾事業者支援・観光事業戦略等アドバイザー報酬費 6,700千円

**(2) 広域観光推進事業費補助金 143,000千円【再掲】**

〔H29予算：96,000千円〕

地域が主体となった全国からの誘客につながる広域的な観光地づくりを推進するため、地域博覧会の開催や広域観光組織が行う周遊促進や旅行商品づくり、セールス活動などを総合的に支援する。

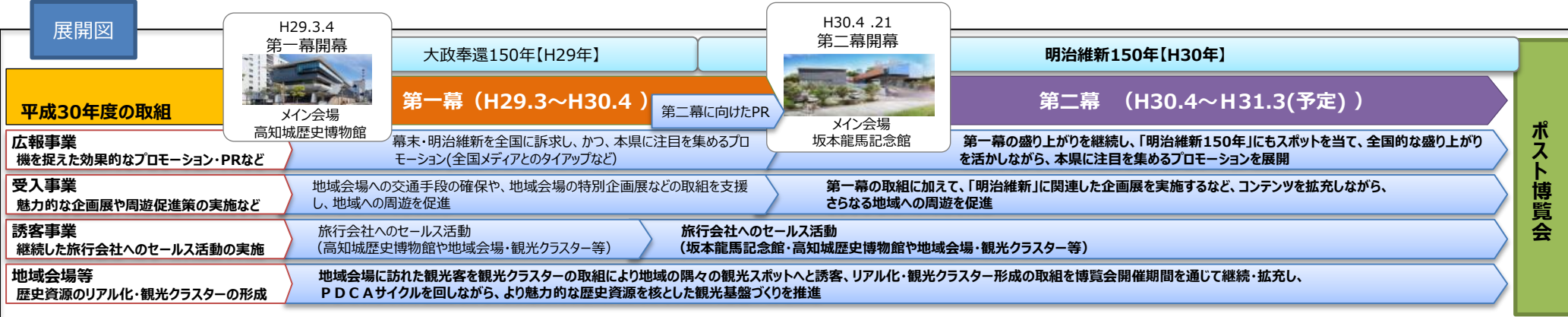


開催の趣旨

平成29年と平成30年は、大政奉還と明治維新からそれぞれ150年にあたる。この全国的にも意義深い2か年に、高知県の幕末維新期の歴史を辿る博覧会を県内全域で開催し、多くの観光誘客と、本県の歴史観光の基盤づくりを図る。

《博覧会の概要》 **メイン会場とサブ会場、さらに地域会場を設け、磨き上げた歴史資源を核とした企画展示など様々なイベントを開催し、その魅力を発信する。また、各会場を拠点に地域の食や自然、体験型観光などを組み合わせた周遊コースに観光客を招き入れる。**

展開図



平成30年度当初予算の概要

志国高知幕末維新博推進協議会の取組

志国高知幕末維新博推進事業費補助金
【564,946千円】

観光コンベンション協会の取組

観光振興推進事業費補助金
【304,302千円】

- ① **プロモーションの強化**【298,630千円】
全国的な盛り上がりを活かす取組
- 全国テレビキー局など、全国メディアとの番組タイアップ
 - 魅力ある資源（人物を含む）などを活用した本県に集中して注目を集めるプロモーション展開
 - 航空会社など企業・団体とタイアップした広報

- 博覧会の開催を広く周知するための取組**
- 公式ガイドブック、公式ホームページなどでの情報発信
 - 新聞広告や高速道路SAでのパンフレット配架等によるPR
 - 高速バスのラッピングや電車内広告などの交通広告の展開

- ② **受入態勢の整備**【202,111千円】
- 幕末・明治維新をテーマとした特別企画展等を実施
 - 歴史を感じさせるイベントの展開
 - スマホアプリや龍馬パスポートを活用した周遊促進
 - メイン会場周辺の渋滞対策
 - 周遊観光バスの運行や交通会社とタイアップした企画切符の発行
 - 館内ガイドを地域会場へ配置するなど地域の取組を支援



- ① **こうち旅広場の運営**
 【こうち旅広場243,339千円】
- 博覧会に関連したイベントの開催
 - こうち旅広場の管理運営
- ② **旅行会社へのセールス**
 【誘客事業30,000千円】

- 旅行会社への個別訪問や観光商談会を実施
- Web系旅行会社を活用し博覧会のプロモーションを展開する
- 旅行商品造成に係る助成

- ③ **イベントの拡充**
 【受入事業18,350千円】
- 高知城お城まつり（夏・秋）



- ④ **旬の観光情報の発信**
 【広報事業12,613千円】

国際観光の推進

1 平成29年度の主な施策の取り組み・成果

- **旅行商品販売促進事業**
重点4市場（台湾・香港・シンガポール・タイ）で推奨モデルルートを設定し、旅行商品を造成販売
KPI:4市場計1,800人→2,000人見込（11月末:1,274人）
- **観光情報発信支援事業**
 - ①首都圏での情報交換会の開催 年3回（11月末:2回）
 - ②メディアファムツアー実施 年2回（11月末:1回）
 - ③プレスリリース配信 年6回（11月末:3回/9ヶ国/地域214社）
 KPI:露出35本（11月末:36媒体38本）
- **プロモーション実施事業**
食を切り口にタイの日本食レストランで高知県フェアを10店舗で開催
タイメディア13媒体19本掲載
タイ旅行会社のWEBで旅行商品を販売 KPI:100人→60人（11月末:20人）
- **外国人旅行者向け観光情報発信事業**
高知県観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」の情報発信
 - ・Webサイトコンテンツの追加
 - ・Facebook英語版、繁体字版で外国人ライターにより毎月各20件程度ずつ配信
ファン数 KPI:英繁計200,000いいね→ 200,000いいね（10月末:158,104いいね）
 【台湾】雑誌 年8回（11月末:5回）、TV1回放送
 【香港・シンガポール】旅行口コミサイトと連携した高知県観光情報サイト「VISIT KOCHI JAPAN」のバナー広告等の実施
 「VISIT KOCHI JAPAN」PV数：194,799pv（H29.4～10月累計/5言語計）
- **ホスト維新博に向けたインバウンド対応の検討**
・ポスト幕末維新博対策PT会議で、外国人観光客への対応を検討

2 評価と課題

- **旅行商品販売促進事業**
 - ・旅行会社のニーズに合ったセールスで一定の成果
 - ・個人旅行者の多種多様なニーズに合わせた観光素材や周遊方法の提案
 - ・旅行者に近い場所にセールス機能を置き、団体旅行への対応に加えて、個人旅行者の細かな旅行動向や流行等の把握とそれらに合わせた情報発信が必要
- **観光情報発信支援事業**
 - ・在日メディアとのネットワーク形成に成果
 - ・商品販売や旅行シーズンなどタイムリーな時期での確実な露出
 - ・在日メディアは政治や経済担当記者が多く、現地の観光担当記者との関係強化が必要
- **プロモーション実施事業**
 - ・食を切り口にプロモーションで一定の成果があったが誘客には繋がっていない
 - ・食を中心としたプロモーションと旅行商品造成、販売との連携が必要
 - ・自然や食を重点に旅行雑誌による効果的、継続的なプロモーションの展開
- **外国人旅行者向け観光情報発信事業**
 - ・観光情報サイトやSNSを活用したタイムリーな情報発信に成果
 - ・象徴的な動画等による認知度向上から、個人旅行者が高知での楽しみ方がイメージできるサイトへの移行が必要
 - ・県内周遊を促すアクセス情報や体験コンテンツの情報充実が必要
 - ・サイトでOTA等（ネット系旅行会社）の予約サイトと連携を強化
- **個人旅行者への対応の強化**
 - ・外国人旅行者に対応できる自然や食を中心とする体験プログラムの磨き上げ
 - ・自然やアウトドア等に関心が高い欧米豪の旅行者への情報発信

3 平成30年度の取り組み

【方針】(1)各市場での個人旅行者（FIT）対策の強化 (2)ポスト維新博に向けた欧米豪への展開

- ① **現地旅行会社・メディアとのネットワークの強化【49,410千円】**
重点市場である台湾・香港・シンガポール・タイの各市場において、現地の旅行業界のトレンド動向や他県の情報等に精通した事業者と連携し、現地でメディアとの情報交換会等を開催するなど、ネットワーク強化を図りながら、個人旅行者（FIT）の視点を重視した、訪日旅行雑誌やテレビ番組放送、ブロガーによる時宜にかなった情報発信などのプロモーション展開を市場毎に展開する。併せて、旅行会社へ定期的・継続的にセールス活動を行うことで高知県への商品造成・販売に繋げる。
- ② **「VISIT KOCHI JAPAN」の個人旅行者（FIT）向け情報発信の強化【（高知県観光コンベンション協会）33,694千円】**
周遊に必要なアクセス情報や体験コンテンツ情報の追加充実、また旅行口コミサイトと連携しOTA（ネット系旅行会社）での誘客を図るため、オーナー登録の促進等を強化
- ③ **個人旅行者に対応した国際観光地づくり及びアクセス環境の改善【（高知県観光コンベンション協会）29,401千円】**
 - ・インバウンドに対応できる体験プログラムの更なる磨き上げ
 - ・米国旅行博でのアウトドア等の体験型観光プログラムのPR及び自然体験を好む欧米豪旅行会社ファムツアー等の実施
 - ・高松空港から高知までのアクセスの利便性に関する実証調査

目指すべき姿

2020年東京オリンピック・パラリンピックを通じて、本県の強力な観光コンテンツである「よさこい」を「日本の祭り」として世界にアピールすることにより、海外での「よさこい」と「よさこい発祥の地高知」の認知度の飛躍的な向上と本県への外国人観光客の誘致につなげる。

成 果

<オリパラに向けた取組及び国内外への情報発信>

(1) 2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会
(H29.11月末時点 30都道府県77団体が参画)

- ・2020年東京オリパラ開閉会式でのよさこい演舞の実現等に向けた全国のよさこい主催団体との連携
⇒ 総会及び理事意見交換会の開催、組織委員会等への要望活動
参画団体でよさこいの魅力についてのキーコンセプトを共有、事業計画を策定等

(2) 「よさこいアンバサダー」の認定

- ・ヨーロッパやアジアなど 累計13カ国/地域42名を認定
(H28: 6カ国/地域19名、H29: 7カ国/地域23名)

(3) 「よさこいマイスター」の派遣

- ・JICA駒ヶ根訓練所への派遣(隊員10名参加)
- ・香港への派遣(ダンサー20名参加)
- ・韓国(木浦共生園)及び台湾への派遣を調整中

課 題

(1) 東京オリパラ開閉会式でよさこい演舞を実現するための組織拡大

- ・参画団体及び顧問の増、事業計画に基づいた全国的なプロモーションの展開

(2) 海外でよさこいが踊られている国や地域のさらなる増加

- ・よさこいアンバサダー、よさこいマイスターとのネットワーク強化



目指す成果目標(H30年度)

(1) オリパラ開閉会式でのよさこい演舞に向けたプロモーション

- ・国等が主催するイベントへの参画やテレビ企画等によるよさこい活用の全国的なプロモーションの展開

(2) よさこいが踊られている国や地域のさらなる拡大

- <H27: 16カ国/地域 ⇒ H29: 21→26カ国/地域 ⇒ H30: 33カ国/地域>
(H29追加: イギリス、イエメン、スーダン、モンゴル、アルゼンチン)
- ・よさこいアンバサダーの認定
(H29) 累計13カ国/地域42名 ⇒ (H30) 累計20カ国/地域63名
- ・よさこい海外普及支援員(よさこいマイスター)の派遣
(H30) チリ、アルゼンチン、台湾、JICA駒ヶ根訓練所への派遣を予定

H30年度の取組

よさこいプロモーション推進事業費

全国のよさこい主催団体と連携し、全国的なプロモーションを展開するとともに、海外でのよさこいを通じたさらなるネットワークの拡大を進め、よさこい発祥の地である本県の認知度を向上させる。

(1)2020東京オリパラへ向けたよさこいプロモーション事業 13,807千円NEW

全国のよさこい団体と連携した「2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会」においてオリパラ組織委員会等へ引き続き要望活動を行うとともに、国等が主催するオリパラフラッグツアードイベントへの参画や全国ネットのテレビ局等に対して、よさこい活用の企画提案づくりなど、全国のよさこい主催団体が集えるプロモーションを積極的に展開する。

(2)よさこい海外認知度向上事業(よさこいアンバサダーの認定) 16,728千円

よさこいの世界的ネットワークづくりをさらに推進していくため、新たに北米や南米などを中心によさこいアンバサダーの認定を行う。
認定されたアンバサダーは自国や近隣国でのよさこいの普及(演舞の披露)やSNS等を活用した情報発信を行う。

(3)よさこい海外普及支援員(よさこいマイスター)派遣事業 6,244千円

よさこいが普及していない国や地域によさこい海外普及支援員(よさこいマイスター)を派遣し、よさこい鳴子踊りの振付や曲づくり、新たなチームの立ち上げなど、よさこいのチームづくりの支援を行う。
また、国際協力機構(JICA)と協力し、青年海外協力隊として派遣される隊員に対しよさこい踊りの指導等を行い、それぞれの派遣地でよさこい鳴子踊りの普及を行う。



よさこいアンバサダー認定式



マイスター派遣

平成30年度 土佐の観光創生塾FIT強化ステージ

予算額 平成29年度46,500千円→平成30年度46,993千円 (493千円)

【概要】ポスト維新博の取り組みをにらんで、Free Individual Traveler（個人旅行者）をターゲットに一定の品質を確保した商品とするための磨き上げを行い、継続した販売に繋げるとともに、地域での消費拡大を目指した事業者同士の連携を促進

これまでの「土佐の観光創生塾」の取り組み・成果

今後の方向性

【平成27年度】
旅行商品の造成・磨き上げ：43件
旅行会社等販売：22件

【平成28年度】
旅行商品の造成・磨き上げ：72件
旅行会社等販売：26件

【平成29年度】
(H29.9月時点)
旅行商品の造成・磨き上げ：74件
旅行会社等販売(予定含)：23件

販売された主な商品

(東部)

- ・伊尾木洞探検 (HISほか)
- ・野根山街道トレッキング (asoview!)

(中央)

- ・仁淀川SUP (JTBエース、asoview!)
- ・浦戸湾クルーズ (近ツリメイト)

(西部)

- ・足摺岬クルーズ (JTBエース)
- ・柏島クルーズ (読売旅行ツアー)

旅行トレンドであるFITに対応し、継続して売れる商品とするためには、4定条件+aが必要

4定条件

- ・定時
- ・定量
- ・定質
- ・定額

+a

- ・直前予約への対応
- ・Web等を活用した十分な情報発信
- ・周辺事業者との連携
- ・稼ぐ仕組み

商品の見直しだけでなく、受入態勢等受講者が抱える個別の課題に対応する必要がある

「土佐の観光創生塾」の取り組みの見直し

◆プログラムの拡充

体験・アクティビティ事業者等を対象に、より売れる商品づくりに取り組むFIT編と、広く観光事業者の人材育成を行う基礎編を設定

◆支援の強化

受講者の個別の課題に対応するためコーディネーターのハンズオン支援を強化

FIT強化ステージの取り組み

◆ポスト維新博の開催をにらみアウトドア・自然体験の磨き上げを強化

◆FIT対応を強化するために4定条件+aを満たす商品とすることを旨す

向けた見直し
ポスト・維新博

平成30年度 FIT強化ステージのカリキュラムと支援の仕組み (受託事業者：1事業者)

観光商品の磨き上げ

地域コーディネーターの支援

目指す成果

対象者

(FIT編) 基礎編
ポスト維新博の対象となる体験事業者等 + 地域産業クラスターの対象事業者

(FIT編) 高知市で開催

座学や地域コーディネーターのハンズオン支援を中心に受講者の商品の磨き上げを行い、OTA等での販売を目指す。また、受講者が主体となり地域での消費に繋がる連携を推進する。
(参加者) 各エリア20人程度

第一回

- (導入)
・「土佐の観光創生塾」の振り返り
・ポスト維新博について
・FIT強化ステージの目的について
- (座学)
講座：ビジネスとしての観光

第二回

- (座学)
OTAセミナー①
・登録に必要な条件提示
・個別相談会の開催
- (個別対応)
・受講者の現状確認
・フォーマットを活用した商品の課題確認

第三回

- (座学)
講座：アウトドア・自然体験の取り組みについて
- (個別対応)
・受講者の現状確認
・商品の磨き上げ

第四回

- (座学)
OTAセミナー②
・OTAを活用した先進事例について
・個別相談会の開催
- (個別対応)
・受講者の現状確認
・商品の磨き上げ

事業者連携の推進 (クラスター分科会)

受講生が中心となり地域の宿泊施設や食資源との連携を促進するために随時開催
・セットプランの検討 (宿+体験でのOTA掲載) 等
・周遊に必要な連携策やツールの検討 (案内板の整備、周遊割引プランの検討) 等

旅行トレンドやインバウンドの動向等、観光地づくりを推進するための知識を学び、観光人材の育成を図る。
(参加者) 50人程度

第一回

- (講座)
<旅行・観光のトレンド>
・旅行・観光トレンド
・インバウンドの動向

第二回

- (講座)
<観光商品を作る>
・観光商品に求められる要件
・旅行会社の仕組み

第三回

- (講座)
<観光商品売る>
・SNS、WEBを活用した情報発信
・旅行会社へのセールス手法
・広域観光組織、KVCA、観光協会との連携

第四回

- (講座)
<観光客の受け入れと磨き上げ>
・満足度向上のための手法
・外国人旅行者受入れのロールプレイ

◆セミナーでの支援
セミナー内での個別対応による受講者の商品の磨き上げ支援

OTAセミナーを通じ、登録に必要な手続きを支援

◆ハンズオン支援

受講者が中心となった地域での事業者連携の促進の支援

受講者の個別の課題に対する支援

商品のセールスに向けた支援

旅行トレンドであるFITに対応し、継続して売れる商品とするために必要と考えられる

4定条件+aの達成

4定条件
・定時・定量・定質・定額

+a

- ・直前予約への対応
- ・Web等を活用した十分な情報発信
- ・周辺事業者との連携
- ・稼ぐ仕組み

事業戦略の策定

自ら情報発信ができ
継続的に売れる商品

ポスト維新博の参加
事業者へ

◆ポスト維新博で
全面的に
プロモーション

新足摺海洋館の整備

《地域観光課》

当初予算額 559,774千円【債務負担行為】3,923,976千円

**基本方針：水族館本来の機能(自然保護、教育・環境教育、調査研究、
【コンセプト】レクリエーション)を有したうえで、展示と目の前の自然環境
(竜串湾など)やアクティビティが連動する日本初といえる
ような特徴ある水族館として整備する**

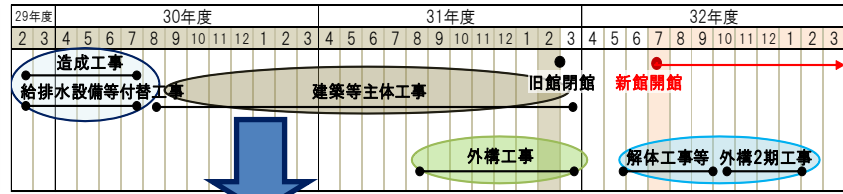
■新足摺海洋館の特徴

- I 目の前に広がる竜串湾や地域の自然と連動する一体感ある展示の実現
- II 隣接するピクニックセンター[環境省]と連携し、展示から本物の自然を体感できる竜串湾(桜浜)やその周辺に誘導
- III 地域の自然・体験、食、歴史を周遊させるクラスタの拠点

規模・構造：地上2階、鉄筋コンクリート造
 本館建築面積：2,164.21㎡(986.15㎡)
 本館延床面積：3,397.81㎡(2,435.31㎡)
 展示水槽数：70基、約710t(38基、約461t)
 展示数：300種4,500匹(200種3,000匹)
総工事費：4,490,445千円 ※()は現館の数値
開館時期：平成32年夏前
 運営方法：指定管理者による運営



【外観イメージ】



- 施設整備等工事請負費 505,812千円 [債務負担]3,486,138千円
新館建築工事及び建築設備工事等
- 工事等監理委託料 43,069千円 [債務負担]84,144千円
新館建築工事及び建築設備工事の工事施工監理等
- 展示製作等委託料[債務負担]353,694千円
新館展示造形物の製作等
- 愛称等募集業務委託料 3,240千円
新館の愛称及びシンボルマークの募集・デザイン補正等
- 事務費 7,653千円 ※平成29年度12月補正予算案の債務負担行為金額を含む

■安定期[6年後:入館者数11万人]における県内への経済波及効果の試算[県外入館者分] ⇒ **約12億円(約16億円)/年**
 [開館後3年間の経済波及効果の累計 約43億円(約57億円)]
 ※ () 内は県内の入館者を含めた試算

展示構成(案)

I 竜串湾や地域の自然と連動する一体感ある展示の実現

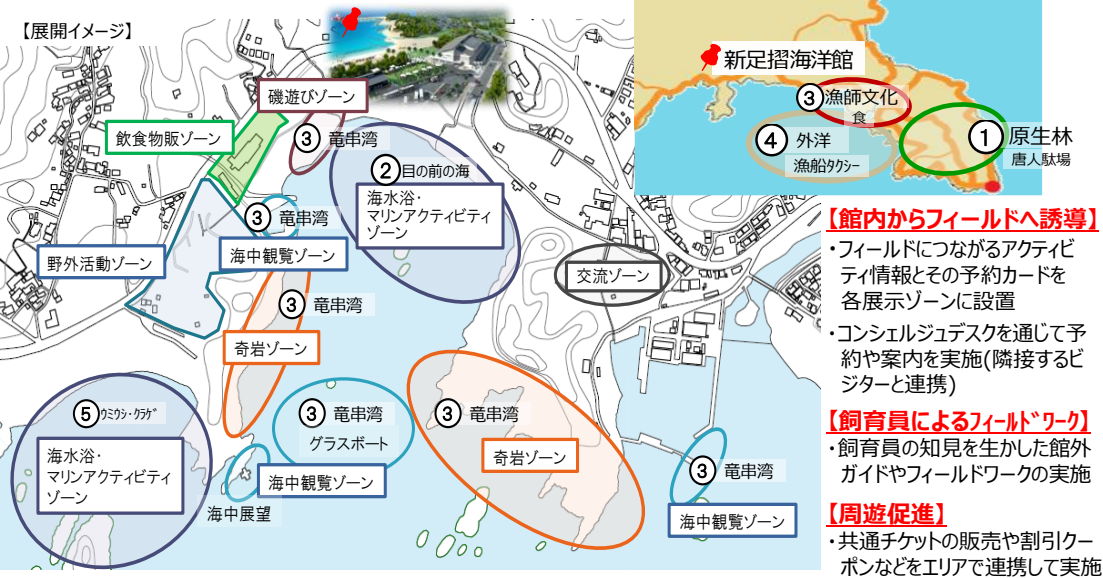
～黒潮の恵みに生物きらめく海と森～

- ①足摺の原生林：地域の植生や巨石群を再現し、河川に生息する魚類やカワウソを展示
- ②プロローグ：目の前の海で見られるウミガメやサンゴを展示
- ③竜串湾：日本初の海中(海域)公園に指定され、ジオサイトにも選定された素晴らしい景観を有する竜串湾を館内で最大となる水槽(500t規模)で再現
- ④足摺の海・外洋：黒潮がはこぶ温帯域の魚や清水サバ、メジカ、カツオ、サメなどが群れをつくる雄大な海を再現
- ⑤ウミウシ・クラゲ：竜串湾内に300種以上生息しているウミウシやクラゲを幻想的に展示
- ⑥深海：宝石サンゴなど土佐湾沖ならではの地形に生息する深海生物を展示
- ⑦企画展示：話題性のある生物の展示や他水族館と連携した企画展を開催
- ⑧エピローグ・コンシェルジュ：竜串湾や周辺地域へ誘導し、本物のフィールドでの体感につなげる



周辺の観光資源に誘う仕組み(クラスタ)の形成

II・III 展示から本物の自然を体感できる竜串湾(桜浜)やその周辺に誘導



新足摺海洋館自らが積極的な情報発信とセールス活動を行うとともに、**ポスト維新博事業との連動や大阪海遊館等の協力を得てプロモーションを展開**

整備概要(案)

スケジュール

当初予算案の概要

経済効果

もてなす

取組方針：国内外からの観光客の満足度をさらに高めるための受入環境整備

取組方針

国内外の個人旅行者（FIT等）の更なる受け入れ態勢の充実を図る。



観光ガイドの育成

安定した質の高い観光ガイドを提供し、観光客の満足度の向上を図るとともに、観光客にとって魅力的な地域の食や物産、体験等へ導く情報の提供により消費拡大につなげる。

課題

観光客の多様なニーズに対応するため、ガイド技術の品質の確保や観光クラスターの一員として、地域の事業者と連携したガイド内容の磨き上げを行う必要がある。

事業内容

●観光ガイド育成事業費

1) 観光ガイド研修の実施 1,746千円



- 委託先
高知県観光ガイド連絡協議会
(加盟団体数H27:21団体、H28:25団体、H29:29団体)
- 事業内容

ガイド団体の連携交流の促進、ガイド技術の向上、新規団体の立ち上げ支援等を実施。

- ・全体研修交流会 ・地域別研修交流会 ・個別勉強会
- ・情報発信 ・避難訓練の実施 等

2) 観光ガイドおもてなしアドバイザー派遣事業

1,364千円

- アドバイザーの派遣
接遇や情報発信、ガイドプログラムの作成、外国語対応などの専門家を派遣し、ガイド団体のおもてなし品質の向上を図る。
- ・対象：高知県観光ガイド連絡協議会加盟団体等
- ・方法：市町村や観光協会、関係機関と連携し、ガイド活用による受入態勢の充実に向けた実施計画を策定する。この計画に沿って、外部専門家派遣を行い、その効果の検証も進めながら品質の向上を図る。

外国人観光客へのおもてなし力の向上

外国人観光客の受入態勢の更なる充実を図り、満足度の向上、消費の拡大につなげる。

課題

ハード面での受入環境整備は一定進んできたが、外国人観光客は買い物や観光施設等において「コミュニケーション」について最も不満に感じている。

事業内容

●外国人観光客受入コミュニケーション力向上事業 7,812千円

外国人観光客とのコミュニケーション力の向上を図るため、観光地エリア別のセミナーや個別事業者向けの研修を実施する。

- 対象施設
宿泊施設、観光施設、小売店等

■事業内容

- ・セミナーの開催
外国人観光客の動向やコミュニケーションの基礎を学ぶ。
- ・個別事業者向けの研修の実施
セミナー受講者のうち希望する事業者それぞれの業務やサービス内容に応じて実用的なスキルを学ぶ。



バリアフリー観光の推進

高齢者、障害者など多様なニーズを持つ旅行者に対し、きめ細やかな対応を行うことで満足度の向上につなげる。

課題

県内観光案内所等には、日頃からバリアフリー情報等に関する問い合わせがあるものの、情報の蓄積がないことから十分な相談対応ができていない。

事業内容

●バリアフリー観光推進事業 7,964千円

観光関連事業者のバリアフリー観光に関する理解促進のためのセミナーの開催や、観光施設等のバリアフリー情報の収集を行う。

- バリアフリー情報・バリア情報の収集・蓄積
・対象：宿泊施設、観光施設、交通施設
- ・方法：施設における自己点検と現地調査
- 人材育成
・相談対応ができる人材の育成
- バリアフリー観光に関する理解の促進
・事業者や観光協会、市町村等向け勉強会の開催や先進地視察



●外国人観光案内所設置支援事業費補助金 2,375千円

外国人観光案内所の開設に必要な経費の補助を行い、開設の支援を行う。

●モバイルWi-Fiルーター貸出事業 2,020千円

外国人観光客を対象に、屋外や移動中の通信環境を確保するためモバイルWi-Fiルーターの貸出を行う。

●通訳コールセンター運営委託料 1,438千円

観光協会や観光事業者及び宿泊事業者等を対象とした多言語コールセンターの運営を行う。

国内外の個人旅行者（FIT等）の多様なニーズにきめ細かく対応することにより、更なる満足度の向上を図りリピーターや消費の拡大につなげる。

H29 <見直し (廃止) 事業> 46,313千円 (10件)

新 : 新規事業

拡 : 拡充事業

改 : 手法改善

1. 見直し

1) プロモーション実施事業 (国際観光課)
5,400千円 (うち (一) 2,700千円)

取組・成果

「食」を切り口に、現地日本食レストランで高知県フェアを10店舗で開催
タイムメディア13媒体19本掲載
タイ旅行会社のWEBで旅行商品を販売 KPI : 100人→60人
(10月末 : 20人)

見直し内容及び理由

食を中心としたプロモーションと旅行商品造成、販売との連携が必要

2) 外国人旅行者向け観光情報発信事業【台湾のみ】 (観光政策課)
8,480千円 (一)

取組・成果

台湾の現地メディアとタイアップしたプロモーションの実施
旅行雑誌掲載 (10月末 : 4回/年8回) 、TV1回放送

見直し内容及び理由

象徴的な動画等による認知度向上から、個人旅行者が高知での楽しみ方がイメージできるサイトへの移行が必要
サイトでOTA等 (ネット系旅行会社) の予約サイトとの連携が必要

3) 観光情報発信支援事業 (国際観光課)
5,000千円 (うち (一) 2,500千円)

取組・成果

- ① 首都圏での情報交換会の開催 年3回 (10月末:1回)
- ② メディアファムツアー実施 年2回 (10月末:1回)
- ③ プレスリリース配信 年6回 (10月末:3回/9ヶ国/地域214社)
KPI: 露出35本 (10月末:36媒体38本)

見直し内容及び理由

在日メディアは政治や経済担当記者が多く、現地の観光担当記者との関係強化が必要

4) 旅行商品販売促進事業 (国際観光課)
15,000千円 (一)

取組・成果

重点4市場 (台湾・香港・シンガポール・タイ) で推奨モデルルートを設定し、旅行商品を造成販売
KPI : 4市場計1,800人→2,000人見込 (10月末 : 1,274人)

見直し内容及び理由

現地にセールス機能を置き、団体旅行の対応に加え、個人旅行者の旅行動向や流行等の把握と旅行シーズンに合わせた情報発信が必要

見直し

H30 <課題解決先進枠等> 67,462千円 (8件)

課題 1 現地旅行会社・メディアとのネットワークの強化



海外情報発信及び旅行商品販売促進事業委託料
(国際観光課)

50,820千円 (一)
(うち、事務費1,410千円)

事業概要

重点市場である台湾・香港・シンガポール・タイの各市場において、現地での情報交換会等を開催するなどメディアとのネットワーク強化を図りながら、個人旅行者の視点を重視した、旅行雑誌やテレビ番組放送、ブログによる、時宜にかなった情報発信などのプロモーション展開を市場毎に行う。

併せて、現地の旅行業界の様々な情報や事業に精通した事業者と連携し、旅行会社へ定期的・継続的にセールス活動を行うことで高知県への商品造成に繋げる。

- ① メディア媒体を活用した情報発信 【台湾・香港・シンガポール・タイ】
- ② 現地メディアとの情報交換会等の実施 【台湾・香港】
- ③ 旅行商品の造成に向けたセールス及び販売の強化 【台湾・香港・シンガポール・タイ】
- ④ 海外旅行博への出展、研修旅行セミナー等開催 【台湾・香港・シンガポール・タイ】

見込まれる成果 (当該年度) とKPI

旅行商品数90商品、送客実数 (泊数) 3,600人泊、露出数30媒体55本

平成30年度南海トラフ地震対策関連事業予算一覧表

担当課	細目事業名	具体的な事業内容	平成30年度 見積額			
			金額	財源		
				(一)	(国)	(その他)
観光政策課	観光振興推進事業費	旅館業事業継続計画策定支援事業等委託料 南海トラフ地震に備えるため、県内宿泊施設の津波避難訓練マニュアルの作成と訓練の実施及び事業継続計画の策定を促進	5,567	5,567		
観光政策課	観光振興推進事業費	南海トラフ地震対策事業費 観光業の復興に向けた事前準備等事務費(復興セミナー等への参加旅費)	526	526		
おもてなし課	おもてなし活動推進費	観光ガイド育成事業費 県内各地域で実施する観光ガイド団体への研修交流会の中で、津波避難等の意見交換を行うとともに、ガイドコースへの避難場所の設置等呼びかけ	3,110	3,110		